

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【公表番号】特表 2019-523779 (P2019-523779A)

【公表日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2019-035

【出願番号】特願 2018-566499 (P2018-566499)

【国際特許分類】

C 07 C 69/157 (2006.01)

A 61 K 31/122 (2006.01)

A 61 P 33/06 (2006.01)

A 61 K 45/00 (2006.01)

A 61 K 9/08 (2006.01)

A 61 K 47/44 (2017.01)

C 07 C 69/24 (2006.01)

C 07 C 69/587 (2006.01)

【F I】

C 07 C 69/157 C S P

A 61 K 31/122

A 61 P 33/06

A 61 K 45/00

A 61 K 9/08

A 61 K 47/44

C 07 C 69/24

C 07 C 69/587

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 9 日 (2020.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

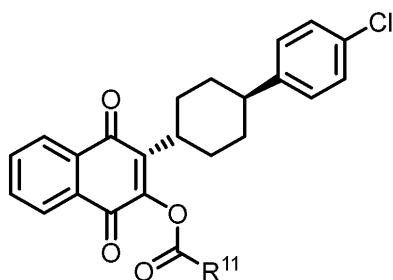
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) 油；および

(ii) 式 (I I I) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体：

【化 1】



式 I I I

(式中、

R^{11} は親油性部分である)
を含む医薬組成物。

【請求項 2】

R^{11} が置換されていてもよい $C_1 \sim C_{30}$ アルキル、置換されていてもよい $C_2 \sim C_{30}$ アルケニルまたは置換されていてもよい $C_2 \sim C_{30}$ アルキニルである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

R^{11} が置換されていてもよい $C_1 \sim C_{20}$ アルキル、置換されていてもよい $C_2 \sim C_{20}$ アルケニルまたは置換されていてもよい $C_2 \sim C_{20}$ アルキニルである、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

R^{11} が $C_1 \sim C_6$ アルキルである、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

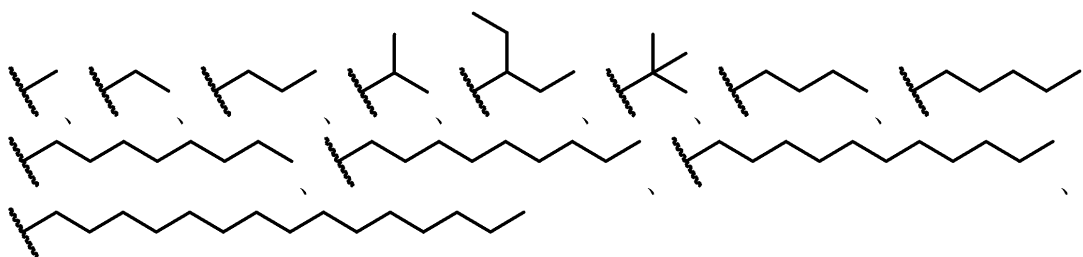
【請求項 5】

R^{11} が C_6 アルキルである、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

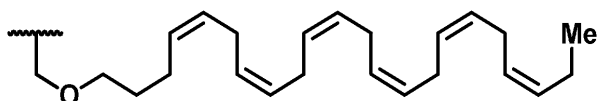
R^{11} が

【化 2】



または

【化 3】

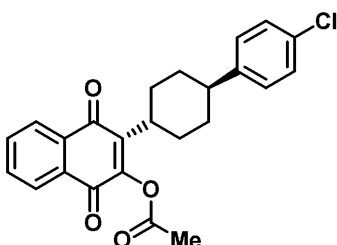


である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

式 (I I I) の化合物が

【化 4】



である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記油が植物油である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記油がトウモロコシ油、落花生油、ゴマ油、オリーブ油、パーム油、ベニバナ油、大豆油、綿実油、菜種油、ヒマワリ油およびこれらの混合物から選択される、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記油がゴマ油である、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記式 (I I I) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体の濃度が約 50 mg / mL 超である、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記式 (I I I) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体の濃度が約 100 mg / mL 超である、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

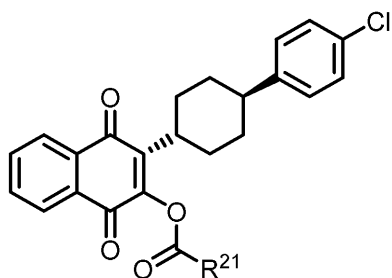
【請求項 13】

前記式 (I I I) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体の濃度が約 200 mg / mL 超である、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

式 (I V) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体：

【化 5】



(式中、

R^{21} は置換されていてもよい $C_3 - C_{30}$ アルケニルまたは置換されていてもよい $C_2 - C_{30}$ アルキニルである)。

【請求項 15】

マラリアの治療または予防における使用のための、請求項 14 に記載の化合物または請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記式 (I I I) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体が、約 5 ~ 約 20 mg / 日の用量で投与される、請求項 15 に記載の使用のための医薬組成物。

【請求項 17】

式 (I I I) の化合物またはその薬学的に許容される塩、溶媒和物もしくは立体異性体が、特にアルテミシニン、アルテミシニン誘導体、アトバコン、プログアニル、キニン、クロロキン、アモジアキン、ピリメタミン、ドキシサイクリン、クリンダマイシン、メフロキン、プリマキン、ピロナリジン、ハロファントリンまたは ELQ - 300 から選択される追加の抗マラリア薬と組み合わせて投与される、請求項 15 又は 16 に記載の使用のための医薬組成物。